

時々トレジャーキャンプ in 宮島

— 怪盗ゴブリーニからの挑戦状 —

ストーリー／調査報告書

※この物語はフィクションです。

【プロローグ】

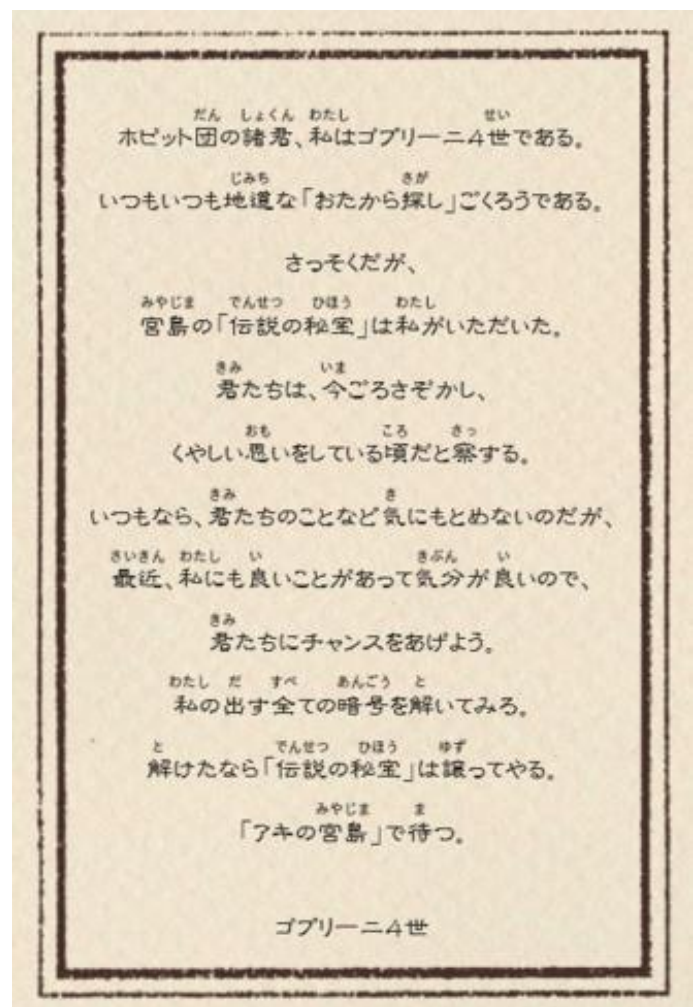
世界中の「おたから」を探しだして、
安全に保護することを目的に活動している「ホビット団」。

日本の世界文化遺産、安芸の宮島に「伝説の秘宝」があることは分かっていたが、見つけ出す前に世紀の大どろぼうゴブリーニ4世に盗まれてしまった。

更にゴブリーニからホビット団に挑戦状が届く。
(右の手紙参照)

選ばれしホビット団レンジャー隊よ。
ゴブリーニからの暗号をすべて解き、宮島の伝説の秘宝を取り戻してくれ。

= ホビット団指令本部より =



【 I 】

ホビット団指令本部より、レンジャーたちへ「指令書」が渡された。

- ・安芸の宮島に行き「伝説の秘宝」の手がかりを探し出せ！
- ・作戦中はゴブリーニの一味に見つからないようにせよ！
- ・上陸したら、まず現地の情報提供者「協力者」を探せ！

指令を受けたホビット団レンジャー隊は、「安芸の宮島」を目指した。



赤い帽子をかぶっている人はゴブリーニの一味だ！気をつけろ！



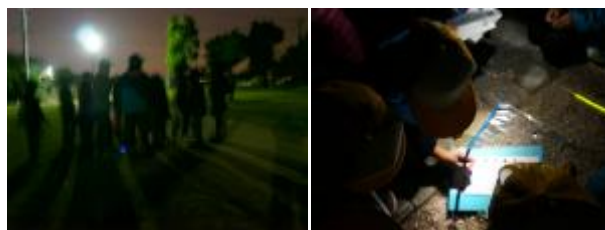
ファーストミッションをなんとかクリア。夜を迎える。



【 II 】

夜。レンジャー隊隊長の元へ、謎の手紙が届く。

闇の中でのミッションが始まった。



謎解きは、全レンジャー隊員が協力しないと解けないものだった。

暗号を解析した結果…

「街中に第3の謎を隠した」



【 III 】

雨降る宮島で、サードミッションが始まった。

観光客にまぎれてゴブリーニの一味が行動しているため、各隊、用心しながらのミッションとなる。



ミッションの後、全員で暗号を解析すると…

「たからはひとにはぬすめない」

盗めない？ どういうことだ？

更に謎が深まった…



【 IV 】

夜。

レンジャー隊の訓練が行われている最中に、隊本部玄関にあやしい人影が。

玄関を調べると、手紙が投げ込まれていた。

中には新たな暗号が…



【 V 】

ラストミッションが始まる。

街中のゴブリーニ一味の人数も倍に増えていた。



そろった暗号を解析。謎を解く「ラストワード」は…



【 VI 】

あれから、数日がたった。

最近のレンジャー隊は、特に大きな事件もなく

隊長もゆっくり朝のコーヒーを飲んでいる頃だった。

「お！新しい指令か？フムフム・・・」

「あちっ！！」

➤ 指令書 ホビット団指令本部調査部
部長 ジョージ・グリフィン

レンジャー隊諸君

まず、先日の宮島での一件の早期解決に感謝したい。

今まで「ゴブリーニ」なる男に、
長年、頭を悩まされてきたが、解決してからというもの
私もゆっくり熟睡できるようになった。
その点においても、感謝する。

話は変わるが、優秀な君たちを見込んで、ひとつ
調査の依頼をしたい。
君たちにしてみれば、たいした
ことではないが、
場所は

「大変だ！大事な指令書が！」

～ 時々トレジャー in 宮島 完結 ～